

秋田県の農林水産業の概要

特徴・取組

秋田県の面積116万haのうち、その72%に当たる約84万haが森林で、13%に当たる約15万haが耕地として利用されている。耕地面積は全国第6位で、特に雄物（おも）川や米代（よねしろ）川などの主要河川流域の盆地や海岸平野には広大で肥よくな耕地が開けている。

気候は、典型的な日本海岸気候で、寒冷で多雪な冬期間の気候が農業振興を図る上で大きな制約となっている。一方、夏期は梅雨が短く比較的涼涼であるため野菜、花きの生産に好適であるとともに、水稻生育期間中は、気温が十分に確保され、気温の日較差も大きい等、米作りに向けた気候となっている。

産業構造は、県内総生産（令和元年度）を産業別にみると、第3次産業の割合が74.0%、次いで第2次産業が23.3%、第1次産業は3.2%となっている。

近年では第1次産業の割合は大きく低下しているものの、古くから農林業が主力産業として栄えてきた歴史があることから、第1次産業の割合が全国と比べ高くなっている。

県内総生産や就業者に占める農業の割合は、それぞれ全国で6位、5位と高い水準にあり、農業への依存度が高い。一方、耕地面積に占める水田の割合が88%（全国54%）、農業産出額に占める米の割合が58%（全国20%）と他県に比べ、米の割合が高いが、近年は野菜や畜産等の生産が拡大している。

県内森林の半分が植栽等により造林された全国屈指の資源量を誇る人工林で、その9割がスギであり、本格的な利用期を迎えていることから、公共建築物の木造化等、県産材の利用が推進されている。

農林水産業が魅力的な地域産業として発展できるよう「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」を策定中であり、これまでの取組結果、園芸メガ団地や大規模畜産団地の整備、えだまめ・ねぎ・しいたけ等の日本一を目指した産地づくりが進んだほか、「秋田牛」の販路拡大、果樹・花きのオリジナル品種、秋田米新品種「サキホコレ」の育成など、本県農業の基盤が整備され、農業産出額も増大している。

主な農林水産物

米

作付面積7割を超える「あきたこまち」が中心で、秋田米新品種「サキホコレ」が令和4年度に本格デビュー。（収穫量全国3位）



ねぎ

園芸メガ団地の主力品目。山本地域を中心に生産。「白神ねぎ」「秋田美人ねぎ」の名称でブランド化。（収穫量全国8位）



えだまめ

えだまめ日本一を目指して、生産者、関係機関が一体となって生産を振興。品種の組合せによる長期出荷（7月～10月）に取り組む。（収穫量全国6位）



アスパラガス

園芸振興に向けた主力品目として、全県において露地、促成栽培等の多様な作型の組合せによりほぼ年間を通じて生産。（収穫量全国9位）



りんどう

中山間地を中心に夏場の冷涼な気候と水田を活用し、「秋田りんどう」のブランドで生産を拡大。（出荷量全国2位）



しいたけ

降雪の多い県内でも周年生産できる品目として、京浜地区中央卸売市場「販売三冠王」を2年連続で獲得し、一層の産地拡大。（しいたけ生産量全国5位）



りんご

鹿角・平鹿地域が主な産地。「秋田紅あかり」などの県オリジナル品種の導入を進め、産地化を推進。（収穫量全国5位）



すぎ

秋田杉の天然林は、日本三大美林の一つ。木材の優先利用に取り組むウッドファーストあきたを県民運動として展開。（生産量全国2位）



比内地鶏

比内地鶏は、県を代表する特産品。食文化の維持や食産業振興の観点からも重要な品目。北秋田地域を中心に令和2年は、約48万羽を生産。



はたはた

最重要魚種。近年資源量が減少しており、「資源管理型漁業」を推進。水揚げ日数の制限などを実施。（漁獲量全国3位）



秋田県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜林産物】水稲、そば、大豆、えだまめ、ねぎ、肉用牛、乳用牛、豚、すぎ、しいたけ、わらび

山本地域

【農畜産物】花みょうが、ミニトマト、促成アスパラガス、キャベツ、うど、じゅんさい、りんどう、きく、比内地鶏
 【林産物】まいたけ、ねまがりたけ
 【水産物】はたはた、あまだい、あわび、北限のふぐ、たら

秋田地域

【農畜産物】メロン、キャベツ、かぼちゃ、たまねぎ、日本なし、ぶどう、きく、ダリア、イチジク、鶏卵
 【水産物】はたはた、あまだい、あわび、北限のふぐ、たら、わかさぎ、しらうお

由利（ゆり）地域

【農畜産物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、さやいんげん、かなかぶ、イチジク、りんどう、きく、ばら、トルコギキョウ、比内地鶏
 【林産物】ぶなしめじ、ねまがりたけ
 【水産物】はたはた、あまだい、あわび、たら、ずわいがに

雄勝（おがち）地域

【農畜産物】すいか、トマト、きゅうり、ひばり野オクラ、せり、さくらんぼ、りんご、ぶどう、平良（たいら）かぶ、ひろっこ（あさつきの若芽）、関口（せきぐち）なす、トルコギキョウ、ストック、きく、りんどう、鶏卵
 【林産物】ねまがりたけ

鹿角（かづの）地域

【農産物】きゅうり、トマト、アスパラガス、松館（まつだて）しぼり大根、りんご、北限の桃、ゆり、トルコギキョウ、きく
 【林産物】ねまがりたけ

北秋田地域

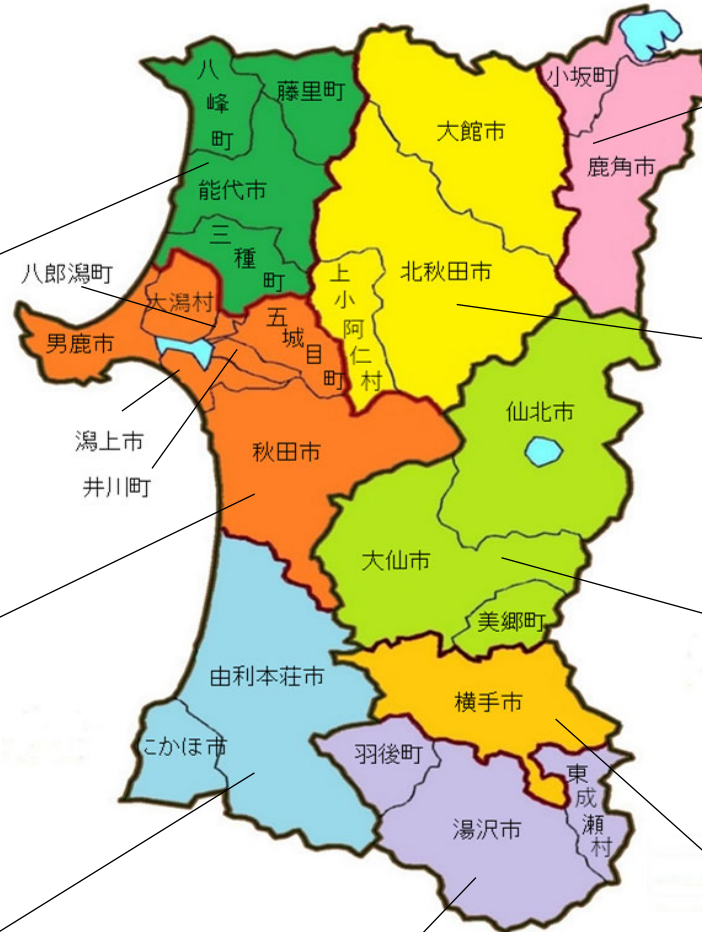
【農畜産物】きゅうり、やまのいも、にんにく、ホップ、アスパラガス、大館とんぶり、りんご、日本なし、ダリア、比内地鶏、鶏卵
 【林産物】からまつ、ねまがりたけ

仙北（せんぼく）地域

【農畜産物】トマト、アスパラガス、きゅうり、ほうれんそう、りんどう、きく、トルコギキョウ、ダリア、ケイトウ、鶏卵

平鹿（ひらか）地域

【農畜産物】すいか、きゅうり、トマト、アスパラガス、ほうれんそう、さといも、食用ぎく、ホップ、りんご、さくらんぼ、ぶどう、山内（さんない）にんじん、きく、トルコギキョウ、ゆり、鶏卵
 【林産物】なめこ、ぶなしめじ



出典：秋田県就農支援マニュアル「秋田県農畜産物マップ」、あきたの伝統野菜、秋田県農林水産業累年統計表、秋田県林業統計、海面漁業生産統計調査、横手市ポケット統計を基に作成

秋 田 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は14万6,400haで全国第6位。内訳は、田が12万8,400haで3位、畑が1万7,900haで23位。
- ・担い手への集積面積は10万2,630haで全国第3位。
- ・農業経営体数は2万8,947経営体で全国第14位。

耕地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
耕地面積	146,400 ha	4,349,000 ha	6
田	128,400 ha	2,366,000 ha	3
畑	17,900 ha	1,983,000 ha	23
普通畑	11,800 ha	1,126,000 ha	21
樹園地	2,170 ha	263,200 ha	34
牧草地	3,910 ha	593,400 ha	8
参考) 総土地面積	1,163,752 ha	37,797,463 ha	6

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	1,042 ha	281,831 ha	44

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	102,630 ha	2,535,115 ha	3
集積率	70.0 %	58.0 %	3

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農業経営体数	28,947 経営体	1,075,705 経営体	14
法人経営体	710 経営体	30,707 経営体	15
総農家数	37,116 戸	1,747,079 戸	22
販売農家	27,780 戸	1,027,892 戸	15
参考) 世帯総数	385,187 世帯	55,830,154 世帯	40
集落営農数	744 集落営農	14,490 集落営農	3

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	33,720 人	1,363,038 人	18
男	21,479 人	822,144 人	18
女	12,241 人	540,894 人	18
65歳以上	24,138 人	948,621 人	17
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	71.6 %	69.6 %	-
認定農業者数	9,766 経営体	233,806 経営体	4
法人数	705 法人	26,080 法人	10
参考) 総人口数	959,502 人	126,146,099 人	38

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

秋 田 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は1,898億円、全国第18位。内訳は、米が1,078億円、野菜が301億円、畜産が365億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、ホップ、りんどうは1,180万本で全国第2位、水稲が50万1,200 t で3位、大豆が8,650 t で5位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が114億4,500万円、農家民宿の農業経営体数は40経営体。

農業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農業産出額	1,898 億円	89,557 億円	18
米	1,078 億円	16,551 億円	3
麦類	x 億円	521 億円	- *
雑穀	3 億円	77 億円	9
豆類	16 億円	712 億円	8
いも類	6 億円	2,391 億円	37
野菜	301 億円	22,520 億円	26
果実	89 億円	8,741 億円	25
花き	26 億円	3,080 億円	37
工芸農作物	8 億円	1,553 億円	20
その他作物	x 億円	697 億円	- *
畜産	365 億円	32,279 億円	26
肉用牛	58 億円	6,863 億円	30
乳用牛	29 億円	9,310 億円	36
生乳	26 億円	7,798 億円	36
豚	192 億円	6,596 億円	12
鶏	80 億円	8,724 億円	29
鶏卵	67 億円	4,577 億円	24
ブロイラー	x 億円	3,621 億円	- *
その他畜産物	6 億円	787 億円	11
加工農産物	0 億円	436 億円	37

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	秋 田 県	全 国	全国順位
ホップ	生産量	R2 50 t	187 t	2
りんどう(切り花類)	出荷量	R2 11,800 千本	81,700 千本	2
水稲	収穫量	R3 501,200 t	7,563,000 t	3
大豆	収穫量	R2 8,650 t	218,900 t	5 *
りんご	収穫量	R2 25,200 t	763,300 t	5 *
えだまめ	収穫量	R2 4,920 t	66,300 t	6
ねぎ	収穫量	R2 14,300 t	441,100 t	8
アスパラガス	収穫量	R2 1,380 t	26,700 t	9
すいか	収穫量	R2 9,670 t	310,900 t	11
豚	飼養頭数	R3 278,500 頭	9,290,000 頭	12

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「ホップに関する資料(全国ホップ連合会)」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	8,623 百万円	946,841 百万円	34
	事業体数	790 事業体	32,400 事業体	12
農産物直売所	総額	11,445 百万円	1,053,366 百万円	40
	事業体数	450 事業体	23,650 事業体	25
農家民宿	総額	42 百万円	5,409 百万円	25 *
	経営体数	40 経営体	1,360 経営体	9 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

秋 田 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は141.5億円で全国第8位。内訳は、木材生産が6位、栽培きのこ類生産が15位。
- ・ 林産物の生産状況は素材生産量が112万m³で全国第4位。内訳は、すぎが99万m³で2位。
- ・ 製材工場数は80工場で全国第26位。内訳は、国産材のみが73工場で20位。

林野面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林野面積	832,517 ha	24,770,201 ha	6
国有林	371,837 ha	7,153,338 ha	4
民有林	460,680 ha	17,616,863 ha	11
人工林面積	409,506 ha	10,203,842 ha	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,010 経営体	34,001 経営体	10
法人経営体	133 経営体	4,093 経営体	6

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業産出額	141.5 億円	4,286.4 億円	8
木材生産	100.2 億円	1,943.7 億円	6
栽培きのこ類生産	40.5 億円	2,259.6 億円	15

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,123 千m ³	19,882 千m ³	4
針葉樹	1,026 千m ³	18,037 千m ³	4
すぎ	989 千m ³	11,663 千m ³	2
からまつ	21 千m ³	2,008 千m ³	7
広葉樹	97 千m ³	1,845 千m ³	4
わらび	生産量 33.3 t	509.9 t	3
ねまがりたけ	生産量 10.3 t	83.8 t	4
生しいたけ	生産量 3,848.9 t	70,279.6 t	5

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
工場数	80 工場	4,115 工場	26
製材用素材の入荷があった工場数	80 工場	4,067 工場	26
国産材のみ	73 工場	3,237 工場	20
国産材と輸入材	7 工場	653 工場	33

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

秋 田 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は26億円で全国第38位。
- ・水産物の生産状況は、秋田県の最重要魚種はたはたが406 t で全国第3位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が3億8,900万円で全国第23位。

漁船隻数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
漁船隻数	888 隻	132,201 隻	32
動力漁船	351 隻	69,920 隻	36

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	632 経営体	79,067 経営体	32
内水面漁業経営体数	122 経営体	4,772 経営体	10

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	773 人	151,701 人	38
男	740 人	134,186 人	38
女	33 人	17,515 人	35

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	26 億円	13,484 億円	38

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	6,064 t	4,182,983 t	36 *
海面漁業漁獲量	5,979 t	3,213,334 t	37
はたはた	406 t	4,853 t	3
あまだい	105 t	1,154 t	3
海面養殖業収穫量	85 t	969,649 t	34 *
内水面漁業・養殖業生産量	298 t	50,832 t	25 *
内水面漁業漁獲量	244 t	21,745 t	12 *
わかさぎ	207 t	935 t	3
内水面養殖業収穫量	54 t	29,087 t	29 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位	
水産物直売所	総額	389 百万円	36,489 百万円	23 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *
漁家民宿	総額	36 百万円	6,659 百万円	30 *
	経営体数	0 経営体	900 経営体	34 *
漁家レストラン	総額	26 百万円	11,822 百万円	32 *
	事業体数	0 事業体	420 事業体	31 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

秋田県の農林水産業の話題等（1）

園芸振興をリードする「メガ団地」等の全県展開

複合型生産構造への転換を加速させるため、販売額1億円以上を目指す「メガ団地」や複数団地を組み合わせ販売額1億円以上を目指す「ネットワーク団地」、メガ団地と連携して販売額3千万円以上を目指す「サテライト団地」等の大規模園芸拠点の整備を推進している。

令和2年度は、メガ団地3地区、ネットワーク団地5地区、サテライト団地4地区の計12地区で施設・機械等の整備を支援しており、令和元年度までに整備が完了した34地区と合わせ、大規模園芸拠点が計46地区となった。また、令和3年度は新たに4地区を整備している。



秋田県大仙市のトマト団地（中仙中央地区メガ団地）



秋田県男鹿市のきく団地（男鹿・潟上地区園芸メガ団地）

日本一を目指す園芸産地づくり

えだまめ、ねぎについて、京浜地区（東京都、横浜市、川崎市）中央卸売市場への出荷量日本一と認知度・品質の向上を目指し、新型えだまめ収穫脱莢機の現地実証、ゆうパックと連携したえだまめの販売促進活動、SNSを活用した県産食材PR等を実施している。

しいたけについて、京浜地区の中央卸売市場で、2年連続して年間販売量、販売額、販売単価の「販売三冠王」を獲得し、生産施設の整備や、一層の産地拡大が期待されるとともに、SNSを活用したPR活動を実施している。

アスパラガス、きゅうり産地のV字回復を図るため、アスパラガスについては有望作型である「ハウス半促成栽培」、きゅうりについては「防虫ネット栽培」の実証を行っている。



アスパラガスのハウス半促成栽培実証ほ場



きゅうりの防虫ネット栽培

秋田県の農林水産業の話題等（2）

カーボンニュートラルに貢献する再造林と木材利用の促進

令和4年度から、低コスト造林を行う林業経営体に、植栽と10年間の保育管理を一括して任せる仕組みを導入するほか、森林所有者に再造林を働きかける「あきた造林マイスター」の育成などに取り組み、再造林を推進する。

木材利用について、畜舎・倉庫等への活用や中高層建築物に使用可能な木質2時間耐火部材の開発、建築部材の輸入材から県産材への転換など、CO₂の固定促進に向けて新しい需要の創出や販路の拡大に取り組んでいる。



秋田スギを使用したトラス工法による畜舎



県営のエリートツリー採種園

「サキホコレ」のトップブランド化に向けた取組の推進

「あきたこまち」は、昭和59年に県の奨励品種に採用されてから県産米の主力としてきたが、「サキホコレ」〈秋系821〉は県産米の新たな顔となり秋田米の牽引役となることが期待される。

令和4年度の本格デビューに向けて、デビュー前から消費者の関心や期待感を高めていくため、名称の全国公募や発表イベントの開催、パッケージデザインの発表、県内外で先行販売イベントを実施する等、様々な機会を捉えて戦略的な情報発信等に取り組んでいる。

生産対策については、品質・食味の向上と地域別栽培マニュアルの策定に向け、栽培試験を実施するとともに、栽培技術の普及や品質・出荷基準に基づく区分集荷体制の整備を進める。



名称発表イベント(R2.11.17)の様子



先行販売キックオフイベント
(R3.11.16)の様子